



CONTENTS

●P1 特集

硬式野球部 新チーム始動!!

●P3 市大ブランドフード対決!!

学長ビーフシチュー VS 牛にくと野菜のうまみたっぷりCURRY

●P4 卒業生の活躍

生野照子さん・日本女医学賞受賞記念対談

OCU TOPICS

●P5 RESEARCH / 平 寛 教授 (法学研究科)・井上 淳 准教授 (理学研究科)

●P6 RESEARCHERS / 久末 弥生 教授 (創造都市研究科)・洲鎌 亮 病院講師 (医学研究科)

●P6 STUDENT ACTIVITIES / キャンドルナイト ~ヤシの木への手紙~を開催!

セレッソ大阪が2タイトル獲得!

OCU INFORMATION





硬式野球部 新チーム始動!!

～創部以来初の明治神宮野球大会出場を目指して～

本学硬式野球部は、2017年秋季 近畿学生野球リーグ戦 I部リーグにおいて24年ぶり3度目の優勝を果たしました。続く明治神宮野球大会出場を懸けた関西五連盟による代表決定戦では、第2代表決定戦まで勝ち進みましたが、0-2で関西大学に敗れ、惜しくも出場を逃しました。新たな気持ちで臨む来シーズンに向けて、監督と主将に抱負を聞いてみました!



勝ち越しタイムリーヒットの瞬間

3度目の優勝が決まり歓喜の胴上げ



辻盛 英一 監督



昨シーズンは応援いただきありがとうございました。応援していただいたおかげで無事24年ぶりに優勝することが出来ました。

春季リーグ戦ではリーグ優勝すれば即全国大会です。創部以来初の全国大会に向けてチーム一丸となって練習に励んでいます。神宮球場に応援に来ていただけるように、来シーズンも必ず優勝致します。

1部リーグの強豪大学相手に正面から打ち勝つ強い野球をお見せできるように頑張ります。

引き続き応援よろしくお願い致します。

板野 修平 主将(商学部3年生)



昨シーズンは応援いただきありがとうございました。秋季リーグ戦では、リーグ優勝することが出来たものの、あと一步のところまで全国大会を逃し、非常に悔しい思いをしました。

その悔しさをバネに新チームではチーム全体、また個人がそれぞれ高い目標を掲げ、この冬の練習に取り組んできました。

その成果を春季リーグ戦で発揮できるよう、チーム一丸となり、目の前の一戦一戦に全力を尽くします。応援よろしくお願い致します。





練習 レポート



まだ寒い1月28日(日)、
練習に励む様子を
覗いてきました!

～冬場の練習メニュー～

- 平日 ▶ 走り込みや筋トレを中心としたグループ練習
- 土日 ▶ 全体練習



第1回桜花杯のご案内

大阪市立大学 vs 京都大学

実力の拮抗する2大学による対校戦。

春季リーグ制覇に向けて、
意気を高める重要な1戦です!
皆で応援しましょう!

日時:平成30年3月15日(木) 午前10時 試合開始
場所:万博記念公園野球場(吹田市)

入場無料



応援よろしく
お願いします!



大阪市立大学
学長ビーフシチュー



生活科学部 食品栄養科学科 学生考案

牛にくと野菜のうまみ
たっぷりCURRY



640円
(税込)

2017年11月6日(月)、
待望の本学完全オリジナルフード、
シチューとカレーが同時にデビューしました!

～レトルト食品のため保存食にも最適!～



420円
(税込)

荒川哲男第12代学長は食通で有名ですが、食べるだけでなく、料理も趣味の一つ。数ある得意料理の中でも「ビーフシチュー」は、これまで学長料理教室、学長記者懇談会など、さまざまなイベントで学生や教職員、お客さまに振舞われてきました。

「学長シチューはおいしいらしい」、という噂が自然に広がり、「食べてみたい!」という声が多く上がったことで商品化をすることに。

学長自ら開発メンバーに加わり、オリジナルレシピをもとに試作を重ね、ついに納得のいくものが完成!

～ここに注目!～

こだわりの黒毛和牛

レトルト食品には贅沢な印象ですが、ここは譲れません!

風味に差が出ます。

赤ワイン

ゴロゴロ野菜

食べ応えがあります。



学内公募により決定した学長公式キャラクターも同時にデビュー!
看護学研究科後期博士課程3年生 吉行紀子さんの作品です。

～ここに注目!～

レンコンがゴロゴロ

日本人に不足しがちな食物繊維を補えるようレンコンを具材に選択、食感に特徴があります。

このカレーを食べて「おから」が入っているとわかる人が果たしているのでしょうか?

なんと「おから」まで

ルーには玉ねぎが約1個分も!

野菜の甘味が出ています。

大阪らしさを考えデザインしました!

パッケージ



対決後は両者健闘をたたえあいました

お披露目会でPR合戦!



2017年10月30日(月)、杉本キャンパス高原記念館において、一般販売に先立ち両商品のお披露目会が開催されました。

ビーフシチューの開発者である荒川学長とカレーの開発者である生活科学部食品栄養科学科の学生がそれぞれ完成商品をPR。開発秘話や商品の特徴を熱く語りました。その後学生・教職員ら83名が試食し、「どっち派」か選んで投票してもらうことに。どちらもそれぞれ美味しく、「どちらか絶対選ばないといけないのか!?!」という声も聞こえましたが、皆さんには泣く泣く究極の選択をしても

らいました。
結果は、52対31で「牛にくと野菜のうまみたっぷりCURRY」に軍配が! 皆さんもぜひご自身の舌で、どっち派がお確かめください。

学長によるビーフシチューのPR



学生によるカレーのPR

試食会では品切れになるほどどちらも大人気!



どちらも大好評発売中! 杉本キャンパス生協「シェリー」、阿倍野キャンパス生協「リンク」にてお求めください。

市大グッズ

検索

日本女医会吉岡彌生賞受賞記念対談

いくの てるこ
生野照子さん × 山崎 祐子病院講師

本学医学部の卒業生であり、現在、なにわ生野病院(大阪市浪速区)にて心療内科部長を務める生野 照子さんが平成28年度 日本女医会吉岡彌生賞を受賞されました。吉岡彌生賞とは医学・社会に貢献した女性医師に対して1年に1~2名のみに授与される日本女医会最高の賞です。生野医師の後輩にあたる本学医学研究科 代謝内分泌病態内科学 山崎 祐子病院講師がお話を伺いました。



小児科から心療内科へ

山崎 吉岡彌生賞ご受賞おめでとうございます。率直なお気持ちをお聞かせください。

生野先生 たくさんの人の支えがあつての受賞だということが真っ先に頭に浮かびました。皆さまへの感謝の気持ちが一番強いのです。

山崎 受賞理由は医学および社会への貢献、中でも最も大きな貢献は摂食障害治療の確立だと思います。摂食障害をご専門に選ばれたきっかけなどはあるのでしょうか。

生野先生 医学部卒業後は小児科で勤務しておりました。患者である子どもと親御さんの話を聞いていると、症状を形成する要因も千差万別だと感じるようになり、単なる疾患単位で分類して治療していくことに疑問が出て

きたのです。身体面
のみの治療に偏ると
心理的要因が置き去
りにされ、良くなるも
も良くならないとい
う場合も出てしま
した。そこをどうするかと模索していたとき
にたどり着いたのが心身両面を診る心療内
科でした。当時は大人対象でしたので、子ども
向けも必要だと思い「小児心身症外来」を立
ち上げたのです。そこで子どもの摂食障害を
診はじめたのがきっかけです。



「日本摂食障害協会」の設立

山崎 摂食障害の患者さんのための組織を作られたということですが。

生野先生 日本では摂食障害の患者さんが多いにも関わらず、専門に治療する病院がなく、患者さんやご家族の悩みは多大でした。そのため、当事者同士の相互援助を目指そうと、患者さんの自助的グループである「あゆみの会」を1985年に創設しました。当初は、海外の学会や文献で情報を仕入れながら皆と一緒に模索し、会報も全て手作りでした。その後は、さまざまな自助グループが全国的にできています。2010年に「摂食障害センター設

立準備委員会」を発足でき、現在の「日本摂食障害協会」の設立につながりました。

山崎 摂食障害の専門病院が1カ所もない中、自らが先駆者となるには相当な覚悟が必要だったのではないかと思います。現在、治療はどのような体制で行われているのでしょうか。

生野先生 小児科時代の経験を経て、心身に多様な症状をもつ患者さんを画一的に疾患分類に当てはめられない、それぞれの患者さんの病状や環境要因に適応する柔軟な治療を提供したいと考えてきました。新しい外来治療システムを作るために最も影響を受けたのはロンドン留学で携わった「多職種によるチーム医療」です。一人の患者に、心理士や栄養士、ソーシャルワーカーなどが協働して治療を進めるのです。多くの治療者がいることは、患者さんの強い支えになります。チームにとっても情報を共有でき、専門外の知識も自然と理解できるようになってきますね。現在では心理士だけでも13名が勤務しており、20種類以上の心理療法から患者さんが自由に治療法を選べます。

寛容な校風で培われた
多角的視点

山崎 先生が医師になるきっかけなどはあったのでしょうか。

生野先生 親族に医師が多かった影響で、小さい頃から医者になるという思いが常にありました。大学時代は自動車部でラリーをしたり、バンドでボーカルを担当したり。市大は寛容な校風だったので勉強以外にも多くの貴重な経験ができました。物事を多面的に見て分析したり、多くの人と関わる経験は医師になるために非常に大事だったと思います。学生の自由な活動を緩やかに見守ってくれる市大が私は大好きなのです。

山崎 同じ卒業生として本学が好きとってくださいるのはうれしいです。私も大学時代はバドミントン部の活動に明け暮れるなど、楽しかった思い出がいっぱいです。学生には勉強だけでなく、多くの人と関わりながらさまざまな経験を積んでほしいとよく伝えて

目の前にいる患者さんを
必ず前向きにしてみせる

山崎 カウンセリングなどで人の悩みを聞き、気が滅入ってしまったこともあるのですが、先生をここまで突き動かしてきた原動力は何だと思われますか。

生野先生 目の前の患者さんは必ず立ち上がることができる信じていましたので、ひどく気が滅入ったことは一度もないですね。それよりも、苦境を抱えながらも懸命に頑張っておられる患者さんの姿に感動することの方がずっと多いです。この仕事を続けてこられた理由は主に二つあります。一つは、「人は必ず変わることができる」「人は信頼することができる」という信念です。この信念は裏切られたことがありません。

もう一つは、家族の存在です。三人の子ども、夫、親戚が支えてくれたので公私のバランスを取ることができたのだと思います。

山崎 先生の今後の目標は何でしょうか。

生野先生 まずは、現在実践している「多職種チーム医療」を更に向上させ、広く普及するためのモデルを提供できればと思っています。医学とは総合人間学であると考えていますので、チームとして人を多角的にみるという基本姿勢が非常に重要です。もう一つは、しっかりと観察し理解するための学びや体験を深めることです。大学時代に教授から聞いた「勉強しない医者は世の中の害になる」という言葉が未だに念頭にあります。現役を続けている限り、今後も最新の医療について日々勉強したいと思っています。

後輩の皆さんには自分がやりたいと思ったことに、そのまま突き進んでほしいですね。上下関係で仕事を考えずにチームでやっていくという、対等で円環的に考える視点が大切です。時間がかかることもあると思いますが、前に向かって進んでくださることを願っております。

山崎 お話を伺い私も元気が出てきました。本日は本当にありがとうございました。





RESEARCH

大阪市大×大阪税関 包括連携協定に基づく共同研究成果

日本の通商戦略および中小企業の多い大阪に有益な示唆
韓国の積極的FTA戦略の現状と課題を分析



ソウル税関でのヒアリングの様子

法学研究科たいらさる平覚教授は、韓国人研究者をメンバーに含む共同研究チームを構成し、大阪税関と共同で「韓国の積極的なFTA戦略の現状と課題—日本の通商戦略への示唆—」と題する研究成果報告書を取りまとめ、公表しました。

日本と同様に積極的な自由貿易協定(FTA)戦略を展開している韓国における国内実施の問題点を分析・検討するため、現地の関係機関におけるヒアリングおよび大阪税関における共同研究会を実施し、その結果をまとめたものです。

我が国では環太平洋経済連携協定(TPP)が注目を浴びていますが、我が国と同様に貿易依存度の高い韓国は、2003年のFTAロードマップ策定以来、積極的なFTA戦略を展開し、多数の2国間または複数国間FTAを締結しています。しかし各FTAの貿易待遇の相違により、スパゲティー・ボール現象と呼ばれる貿易環境の複雑化を招き、例えば、通関業務の複雑化や最適なグローバル・サプライ・チェーンの構築の困難化などの問題を生じています。

本研究は、韓国のFTA戦略の現状と課題および問題点を分析・検討し、日本の通商戦略および特にFTA・EPA(経済連携協定)戦略への示唆を得ることを目的としました。韓国は中小企業でのFTAの利用率が高いため、このような研究は我が国における国際貿易の円滑化・活性化はもちろん、中小企業が多く存在する大阪にとって有益な示唆となることも視野に入れています。

報告書は以下のような構成になっています。

- 1.「韓国実地調査(ヒアリング)報告書」
- 2.「韓国におけるFTA活用のための方策—中小企業向けの対策を中心に—」
- 3.「韓国の税関行政とその裁量に対する司法審査」
- 4.「韓欧FTAにおける認定輸出者自己証明制度」
- 5.「翻訳『FTA活用企業の必須ガイド Business Model 40』(韓国関税庁、2015年)」



報告書はこちらから
ご覧いただけます。

http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/research/distinctive/Osaka_Customs

研究者 クローズアップ



法学研究科 平覚 教授

学生時代に親しんだ水泳を十数年前に再開し、生活のリズムが整ったと語る平覚教授。昨年初めてマスタース水泳大会に出場し、60~64歳の部で50m自由形38.43秒の記録を叩き出しました。パラリンピックの指導経験もある79歳のコーチの指導を受けたことで、記録はどんどん良くなり、苦しいけれどもとても楽しいとのこと。今は水泳経験者の娘さんから褒めてもらったことを励みに、4泳法全てで1mあたり1秒以内のタイムを目標としています。



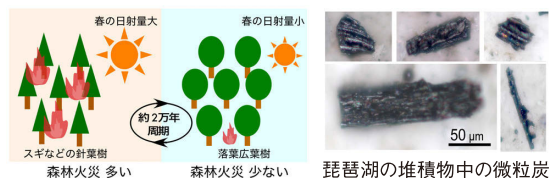
日本における過去15万年間の森林火災量と その変動メカニズムを明らかに

近年、一部の地域では大規模な森林火災が増加しています。さらなる温暖化などに伴い、森林火災の発生や拡大が将来どのように変化するのか関心が高まっていますが、予測を行う上で重要なデータの1つとなるのが、過去の気候変動などと森林火災との関係です。

理学研究科 人類紀自然学研究室の井上淳准教授らのグループは、過去15万年間の琵琶湖の堆積物に含まれる微粒炭(森林火災の際に生じるマイクロサイズの炭)の量に注目しました。微粒炭は森林火災で植物が燃えた際に発生する微細な炭(数十マイクロサイズの炭)で、その量の変化は大まかな火災量の増減を示します。各時代の微粒炭量と堆積物の花粉

分析などから明らかにされた過去の植生、地球の公転軌道や自転軸の傾きの周期的変化から計算された琵琶湖での日射量変動、そして氷期・間氷期サイクルと呼ばれる全世界的な数万年から十万年スケールの気候変動とを比較したところ、少なくとも日本の中央部での比較的温暖な時代には森林火災の増減に約2万年の周期性が認められ、森林火災の増減は春の日射量、植生タイプ、氷期・間氷期サイクルに伴う気温変動によって決定されていることがわかりました。また氷期の寒冷な時代には森林火災の発生が少ないことがわかりました。以上のことから、過去15万年間の多くの期間、森林火災が発生した主な季節は現在と同様に春であると考えられます。

本研究は日本における長期間の森林火災の増減傾向とその要因を初めて明らかにしたユニークな業績で、国際学術誌 Quaternary Science Reviewsに掲載されました。



研究者 クローズアップ



理学研究科 井上 淳 准教授

年に数回フィールド調査には出るものの、基本的にはインドア派だという井上准教授。余暇のお供はマンガ。小学生のころ『ブラックジャック』と『火の鳥』(手塚治虫)にハマって以来、年間150冊レベルで買い集めたコミック本はなんと合計2,500冊超え! 研究では「炭」を通して人類の生活に思いを馳せ、マンガを読むときには歴史上の人物などに惹かれるのだとか。最近のお気に入り『風雲児たち』(みなもと太郎)という長編だそう。



RESEARCHERS

ひさすえ やよい 久末 弥生 教授 創造都市研究科・都市経営研究科(2018年4月より)

考古遺跡と現代都市が共存する日本。その考古学の現場では、行政に悩まされることが少なくありません。発掘調査費用の負担問題、発掘調査による出土品の評価や所有権の問題など、埋蔵文化財をめぐる問題は多岐にわたって潜在しています。

久末教授は、国有地や国有財産に関する法制と訴訟について研究しています。最近では、考古遺産法制を多面的に論じることを通じて、考古学を法的観点からサポートすることを目指し、単著書『考古学のための法律』(日本評論社、2017年)を刊行しました。21世紀の考古遺産法制は、現代都市の持続可能性と調和するとともに、

都市ひいては国のアイデンティティを体現する存在としての遺跡の位置づけを踏まえたものであることが求められていると考えます。

法制度調査のために各国に行く機会も多く、そのたびに「どの時代のどの国の人間も皆、同じように一生懸命生きているのだな」と感じる久末教授。古代遺物の中に子犬の置物を見つけた際には、「当時の人間も子犬をかわいいと思って作ったのかな」と想像したり、言葉が通じる国では街中の人たちとの何気ない会話のやりとりで温かさや優しさを感じたりすることが、よくあるそうです。研究で法制や訴訟を扱う場合にも、背景にある歴史や人々のことを常に考えて取り組んでいます。



◆アナザーサイド

ももとはコーヒー党ですが、関西にはおいしい紅茶専門店が多いことから、最近は紅茶も飲むようになったという久末教授。19世紀のパリを感じさせる北浜エリアのクラシックな喫茶店が大好きで、締め切り厳守の仕事から解放される休日にはコーヒーや紅茶を飲みながら、時計を気にせずのんびり読書などして過ごしています。

すがま りょう 洲 謙 亮 病院講師 医学研究科 整形外科学

本学医学部附属病院の整形外科医である洲謙亮病院講師は、2006年よりセレッソ大阪に関わる仕事に従事しており、2017年からはチームドクターのチーフとして活躍しています。Jリーグ規約により各チームにはチームドクターを置くことが定められており、セレッソ大阪では現在本学整形外科を中心に20名のドクターが活動しています。チームドクターと聞くと、J1のトップチームのみを考えたが、U23はじめスクール、レディースなど下部組織の管理も含まれます。

チームドクターの仕事は、試合開催時ベンチに控えるベンチドクター、試合会場の医務室に控える会場ドクター、外傷発生後の手術を含めた治

療・競技復帰までのプラン作成などの傷害・障害管理、メディカルチェックや予防接種のプログラム作成などの健康管理、そしてJリーグとの連絡などの事務作業まで多岐にわたります。洲謙亮病院講師の元にはチームから全ての連絡が入りますので、常に選手の状態を把握しドクターを統括する必要があり、セレッソ大阪の活動を陰で支えていると言えます。

一番神経を使うのは、選手が傷害を負ったときの正確な治療期間の判断だそうで、セレッソ大阪には日本代表選手候補も複数人所属するため、W杯ロシア大会が開催される今年は特に選手のコンディションに注意を払うことになりそうです。



◆アナザーサイド

洲謙亮病院講師は、病院では1年に約250件もの人工関節の手術を行っています。チームドクターの仕事もあり忙しい毎日ですが、4人のお子さんと遊んだり、月に1回は整形外科医局内のサッカーチームで活動したり、とプライベートも大切にしています。普段ちょっとした運動を心がけることが筋力を保持する秘訣、と自身も17階まで階段を駆け上がっています。

STUDENT ACTIVITIES

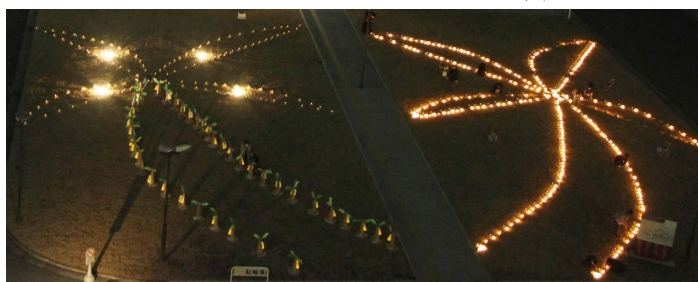
キャンドルナイト ～ヤシの木への手紙～を開催!

2018年1月29日(月)・30日(火)、杉本キャンパス1号館前芝生広場において、「キャンドルナイト ～ヤシの木への手紙～」が開催されました。このイベントは文学部表現文化コースの授業「表現・表象文化論演習Ⅱ」の一環として行われるもので、今回が6回目の開催です。学生が主体となり企画から当日の運営まで携わります。

今年度は、長い間本学杉本キャンパスのシンボルであったヤシの木が伐採されたメモリアルイヤーであることを踏まえ、芝生上にヤシの木形にキャンドル

を設置、また事前に募集したヤシの木へのメッセージを貼った紙袋ランタンをヤシの木オブジェにつるし、ヤシの木の思い出を語り合う時間と場所を提供しました。

ヤシの木形に並べたキャンドル



50通以上集まった
ヤシの木へのメッセージ



セレッソ大阪が2タイトル獲得!

2017年11月4日(土)、本学とフレンドシップ協定を結んでいるセレッソ大阪が、2017リーグYBCルヴァンカップに優勝し初タイトルを獲得しました! また2018年1月1日(月)には第97回天皇杯全日本サッカー選手権大会で優勝し、2つ目のタイトルも獲得、2018年の活躍も大いに期待できます。

本学は、セレッソ大阪の前身であるヤンマーディーゼルサッカー部時代*より約30年間にわたりチームドクターを務めてきました。2017年8月26日(土)、正式にフレンドシップ協定が締結され、選手やアカデミー部門のデータ分析に基づいた年代別のトレーニング方法の開発、障害予防などの健康・スポーツ医学研究の振興や、セレッソ大阪の応援を通じた地域スポーツクラブの発展、またスポーツを支える人材育成などに取り組めます。これからも応援よろしくお祈りします!

*初代チーフドクターは北野公造 整形外科同門会会長が務められました。



左よりマダム・ロビーナ、一般社団法人セレッソ大阪スポーツクラブ宮本功代表理事、大阪サッカークラブ株式会社玉田稔代表取締役社長、荒川哲男学長、井上徹副学長、医学研究科整形外科学教室中村博亮教授、ロビー(2017年8月26日フレンドシップ協定締結式)

OCU INFORMATION

◆ 大学の発展のために ～大阪市立大学夢基金 寄附のお願い～

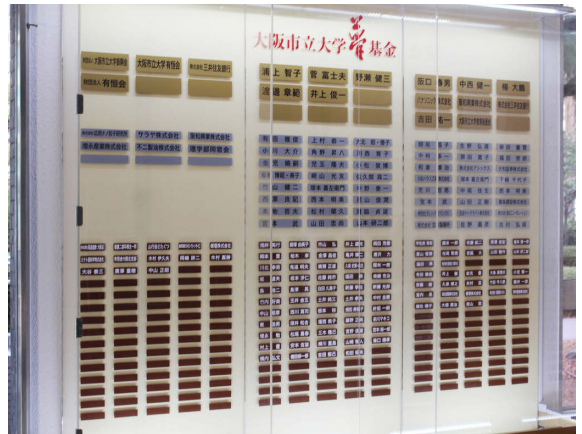
大阪市立大学夢基金は卒業生や保護者をはじめとする多くの皆さまからのご支援のもと、大学の発展のために有効に活用させていただいております。ここ最近では、2017年6月に井上俊様(昭和25年・都島工専卒業)より、11月には教育後援会より多額のご寄附を賜りました。井上様からのご寄附はグローバル社会において活躍する人材育成のための「井上俊一奨学金」を2018年度より創設、教育後援会からのご寄附は課外活動施設建替のための費用に充てさせていただきます。

引き続き、皆さまからのあたたかいご支援ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお祈りいたします。

大阪市立大学夢基金

検索

2018年2月より、クレジットカードによる継続寄附、コンビニ決済、インターネットバンキング決済が利用できるようになりました。



◆ 市大グッズ好評発売中! 市大グッズ 検索 杉本キャンパス生協「シェリー」、阿倍野キャンパス生協「リンク」にてお求めください。



スクールカラーを
チェック模様
にしました!

NEW!

タオルマフラー
980円(税込)

大阪市立大学広報誌

CITY
×
UNIVERSITY

Vol.26

発行：公立大学法人 大阪市立大学

企画・編集：法人運営本部 広報室

デザイン協力：desk

発行日：2018年2月

本誌に関するお問い合わせ・ご意見・ご感想は

大阪市立大学 法人運営本部 広報室

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

e-mail: t-koho@ado.osaka-cu.ac.jp

本誌に掲載の写真および原稿の無断転用を禁じます



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

杉本キャンパス

商・経・法・文・理・工・生活科学 各学部・各大学院研究科
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

阿倍野キャンパス

医学部・大学院医学研究科・大学院看護学研究科・医学部附属病院
〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3

梅田サテライト

大学院創造都市研究科・都市経営研究科(2018年4月より)
文化交流センター
〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-600 大阪駅前第2ビル6階

<http://www.osaka-cu.ac.jp>